

古平町地域公共交通活性化協議会

平成31年4月11日設置



古平町

概要

- 古平町は、積丹半島の東側中央部に位置し、北は日本海に面し、東・南・西の3方向は山地を介して余市町など6市町村と接している。行政区域面積は188.36km²で、町を南北に縦貫する古平川河口周辺と、西北部を流れる丸山川沿いに人口が集中している。また、古平町の人口は平成22年の3,611人に対して平成27年では3,188人に減少しており、人口減少と高齢化が進行している。
- 地域間バス路線は、国道229号を経路とする中央バス積丹線(1路線)が運行されている。町内はコミュニティバス・スクールバスを運行しており、自己で交通手段を持たない町民の移動手段となっている。しかし、幹線である中央バスの維持が困難になっていること、高齢化や人口減少に伴うコミュニティバスの利用者減少などの問題が発生しているため、効率的で持続可能な公共交通体系の構築を目指し、「古平町地域公共交通網形成計画」を策定する。

○地域公共交通の現況

- 中央バス 幹線バス1路線(積丹線)
- ツバメ交通(タクシー事業者)
- コミュニティバス(1路線)
- スクールバス(2路線)

○地域公共交通の課題

- 人口減少に伴う利用率の低下、乗車人数の減少
- 乗車人数の減少に伴う運行効率の低下
- 経費の増大 等

○調査の主な内容

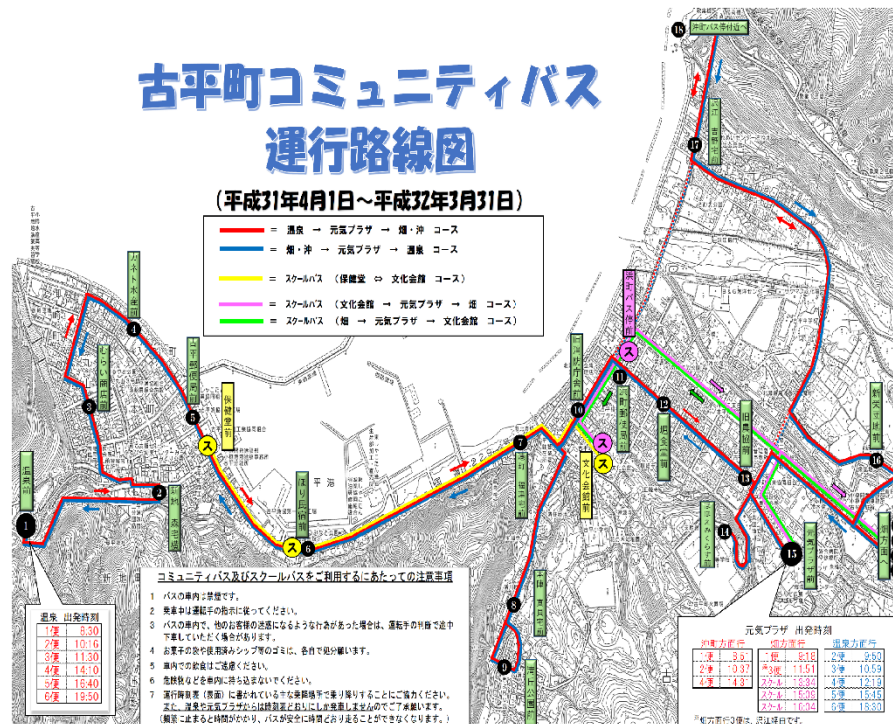
- 地域公共交通網形成計画(案)の取りまとめ
- 実証運行計画の立案
- 協議会、分科会の開催

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 4月11日 第1回協議会を開催
 - 11月25日 第2回協議会を開催
 - 令和2年3月 第3回協議会(予定)
- 協議会設置、公共交通の現状の説明
網計画素案、実証運行計画素案の提示
交通網形成計画(案)のとりまとめ

古平町コミュニティバス 運行路線図

(平成31年4月1日～平成32年3月31日)



古平町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

【結果概要】

- ・町内コミュニティバス、スクールバス及び幹線バスの乗降調査結果から、各停留所や運行時刻の利用率を検証しました。
- ・検証結果から、利用率の低い時間帯のデマンド交通導入について検討を行いました。
- ・デマンド交通の実施可能性について、民間交通事業者との意見調整を行いました。

●事業実施の適切性

- ・計画(案)の作成については、デマンド交通の実施可能性も含め意見調整に時間を要しているため素案の作成に留まった。
- ・実証運行計画については、実施可能性も含め引き続き意見調整を行っていく。
- ・自治体と交通事業者双方の利益となる計画になるよう引き続き検討を行う。

●地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針

- ・利用実態に即した町内公共交通網の再編 ・町民の広域的な生活行動を支える公共交通の充実
- ・立地適正化計画と連携した交通結節点の創出 ・町民の積極的な公共交通利用を促す利用促進策の展開

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄